



活動紹介

事務局長 森 満樹子

長崎県映画センターとは



創立 1976年5月

- ▶ 長崎県内に良質の映画を届けることを目的に創立された民間団体です。
- ▶ 佐藤由美子理事長をはじめ、理事13名で運営しています。
- ▶ 長崎市文化団体にも登録しています。

<加盟組織>

- ▶ 全国映画センター
- ▶ 協同組合JSN(ジャパン・スロー・シネマネットワーク)

さまざまな取り組み方の上映会を 提案実施しています。

- ▶ 観たい映画、観てもらいたい映画をみんなで前売券を普及しながら
経費を貯う「有料自主上映会」
- ▶ 学校で授業の一環で子どもたちが映画を鑑賞する「学校上映」
- ▶ 福祉や人権をテーマにした啓発上映会
- ▶ ホール(文化会館など)との共催事業

長崎県内各地で上映しています。

- ▶ 長崎県内の文化施設、公民館の講堂、学校の体育館など

長崎市民会館	チトセピアホール	長崎市出津ふれあいセンター
アルカスSASEBO	諫早文化会館	たらみ図書館海のホール
島原文化会館	愛の夢未来センター	深江ふるさと伝承館
福江文化会館	新上五島町鯨賓館ホール	小值賀町民文化セール
対馬市交流センター	上対馬総合センター	大島文化ホール
平戸文化センター	佐々町文化会館	シーハットおおむら



映写機材や
スクリーンを
持ち込むことも
あります。



多彩なテーマ

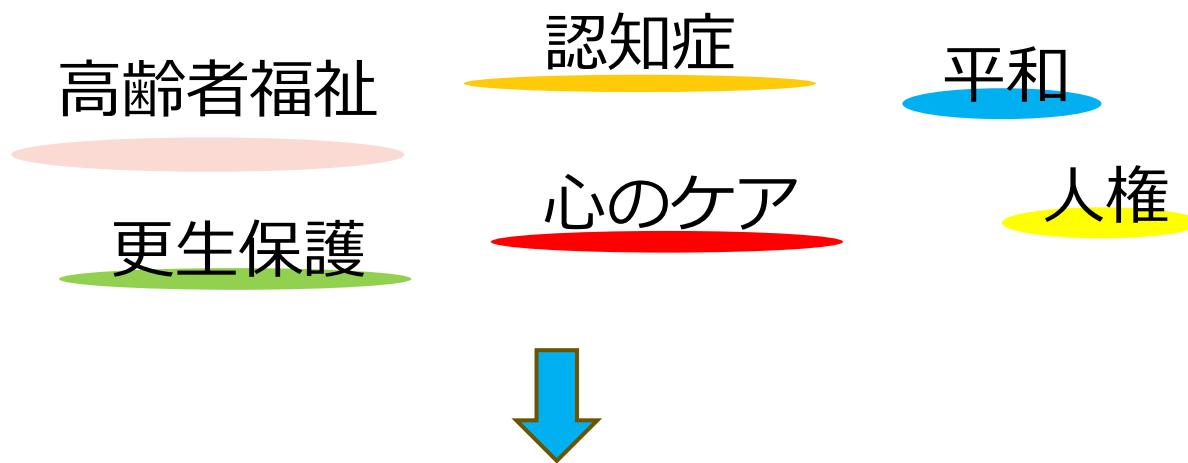
楽しみながら役にたつ劇映画

長崎県内の劇場で公開されないドキュメンタリー映画など



大切にしていること

- 映画が持っているテーマに関係した活動をしている市民や団体との連携
- 観て、知って、学びがある上映会づくり



長崎県 長崎県内各市町 教育委員会 社会福祉協議会
福祉団体 まちづくり協議会 実行委員会 など

『オレンジ・ランプ』のとりくみ

認知症の人と家族の会長崎県支部 × 長崎県映画センター



映画『オレンジ・ランプ』長崎県上映をひろめる会

オレンジ・ランプ

あなたの市、町にも・・・

「オレンジ・ランプ」の上映の輪をひろげてください

2023年4月から「長崎県ケアラー支援条例」が施行され、

6月には国会で「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が成立しました。そんな折、完成を迎えた映画「オレンジ・ランプ」は認知症に対する誤解を取り除き、認知症の人がそれまでと変わらない社会生活を営むことの出来る姿を感動的に描いた作品となりました。

モデルとなった丹野智文さんは、39歳で若年性認知症と診断されましたが、

10年を経た今もなお会社員として働き、認知症の啓発活動を積極的に行ってい

私たち、この映画の長崎県上映を通して、

認知症の先に希望の光が見える地域社会の実現を願って

＜映画「オレンジ・ランプ」長崎県上映をひろめる会＞を立ち上げました。

あなたのお住まいの市町で、この映画の上映会を開催していただき、

認知症の人も、家族も、誰もが支え合い、共に地域で生きることの出来る

＜共生社会＞の実現の一助としていただければ幸いです。

映画「オレンジ・ランプ」長崎県上映をひろめる会

代表委員

神原 千代子（認知症の人と家族の会長崎県支部代表）

辻 美香（シネマナビゲーター）

今村 洋一（長崎県映画センター理事長）

事務局

〒850-0024 長崎市大井手町24番地（長崎県映画センター内）

☎ : 095-824-2974

FAX : 095-824-2958

メール : nkec@lime.ocn.ne.jp

後援

長崎県

長崎県基幹型認知症疾患医療センター

長崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会

長崎県老人福祉施設協議会

一般社団法人長崎県老人保健施設協会

一般社団法人長崎県認知症グループホーム連絡協議会

一般社団法人長崎県社会福祉士会

一般社団法人長崎県介護支援専門員協会

一般社団法人長崎県介護福祉士会



実話をもとに描く、
やさしさに満ちた
希望と再生の物語

推薦：厚生労働省
文部科学省選定作品



©2022「オレンジ・ランプ」製作委員会

一般社団法人長崎県医師会

一般社団法人長崎県歯科医師会

一般社団法人長崎県薬剤師会

公益社団法人長崎県看護協会

社会福祉法人長崎県社会福祉協議会

長崎県民生委員児童委員協議会

公益財団法人長崎県老人クラブ連合会

公益財団法人長崎県すこやか長寿財団

認知症の人も、家族も、誰もが
支え合い、共に生きる社会を願って・・・

映画
「オレンジ・ランプ」
上映のすすめ方

スローシネマ有料上映会

開催方法

各市町にて上映会を主催する主催者を立ち上げていただきます。単一の団体でも、ご賛同の団体での実行委員会でも結構です。あるいは、心ある個人の皆様が手をとりあっての開催も歓迎します。この映画を届けたい！この思い一点で主催者になってください。

上映期間

2024年1月より2024年7月

会場・日時

会場はそれぞれの公共施設を使います。
一般的には、一日2~3回の上映を行います。

入場料

前売券 一般・シニア・大学生 1200円
当日券 一般・シニア・大学生 1500円
小中高生 800円

上映経費

上映にかかる主な経費は鑑賞料収入で賄うことを目標にしています。不足があった場合には、ひろめる会事務局が負担します。

観客目標

上映運動のスタートにあたっては、ご相談の上、観客目標を設定します。しかし、上映結果が目標に達しなくとも、主催者様が不足分をご負担することはありません。

上映協力金

上映終了後、上映総収入の10%を上映主催者に
還元いたします。
この用途は主催者側でお決めいただき、ご活用ください。

上映会をご検討いただく際には、ひろめる会事務局（☎095-824-2974）へご一報ください。
「上映会でできること」をご提供いたします。

※本事業以外の期間でも有料上映会、および研修会などの予算を確保しての無料上映会は可能ですが、条件が異なります。詳細はひろめる会事務局へおたすねください。

©2022「オレンジ・ランプ」製作委員会

有料上映会

19市町 27会場で上映

鑑賞者数 11,142名

みんなで笑って、泣いて
映画を通して
認知症のこと
認知症の人の家族のこと
認知症の人との接し方など
学び合いました。

平成24年度長崎県児童委員・主任児童委員 子ども虐待防止地域研修会



—映画と講話のつどい—

各地上映会の要員アルバイトにフリースペースの若者たちを起用。
会場設営、受付など担当

スモールステップ

社会とのかかわり

長崎県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

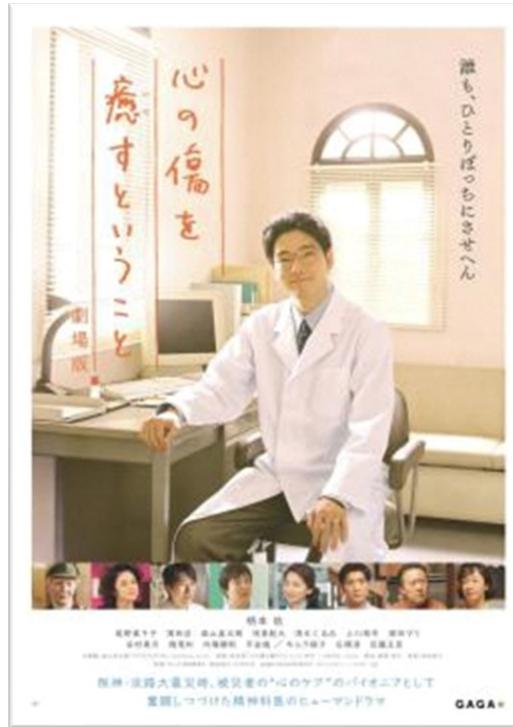
このような取り組みを初めて知りました。

長崎県映画センターの活動を振り返ってみると
特別意識していたわけではありませんが
孤独・孤立についても、少しかかわりがあるかも・・・



理事会の会議で検討して登録することにしました。

「孤独」「孤立」に関連する作品



新作



みんなもろい

街も、家族も、

わたしの心も

『港に灯がともる』

阪神淡路大震災の翌月に神戸に生まれた
在日韓国人3世の女性が主人公
自身の出自と親から聞かされる震災の記憶の
板挟みになり双極性障害を発症した主人公が
回復を目指すなかで希望を見出していく

世界メンタルヘルスデー企画

映画『港に灯がともる』上映会＆トークイベント



2026年

10月4日(日)

長崎市民会館文化ホール

宮地尚子先生 × 安成洋プロデューサー

(精神科医、一橋大学名誉教授)

集団で映画を鑑賞し共有する

上映会は交流の場





ありがとうございました。

長崎県映画センター